

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
安藤 和久 議 員	1 住民の安全について	(1) 昨年の台風10号で破損した上中のロードミラーが、未だに取り替えられていない。スクールバス停前の交差点であるため、事故防止を考えた際、早急に交換すべきではないか。	町長
		(2) 上東の災害時の避難経路沿いの壁は、個人で積んだ石垣で崩壊しやすい。災害時に避難上の障害になる恐れがある。より安全なコンクリートの擁壁にすることはできないか。	
		(3) 上西・上中・上東の高台へ続く道路は、どれも狭く崖が迫っており、避難道路に適していないと思われる。今後、安全な避難道路を確保する工事予定はあるか。	
	2 不登校の現状について	(1) 令和4年度から中学校の不登校生徒数が2桁に上っているが、教育委員会として主な理由を把握しているか。	教育長
		(2) 積極的不登校ということばを耳にすることがあるが、喜界町でも学校に通わせず、子どものスキルを高めさせたいという保護者はいるか。	
倉橋 博都 議 員	1 空港臨海公園のトイレ設置について	(1) 度々、空港臨海公園（スギラビー チ及び芝生広場）へのトイレ設置について一般質問があります。昨年第4回定例会では安藤議員の質問に対して、町長は事業実施計画は令和5年から令和9年としており、その時々々の社会情勢や財政状況等により変更もあり得ると答弁されていますので、町長にお伺いいたします。	町長
		① 現在トイレ設置の事業計画が止まっているように感じますが、事業実施計画に変更等が生じたのでしょうか。	
		② 昨年第3回定例会において、現議長である米田議員からも質問がありましたが、トイレ設置計画が順調に進まないようであれば、町民や観光客が快適に公園利用出来るように仮設トイレを設置していただけないか。	
	2 土地改良区への資金援助について	(1) 近年、畑かん事業において、パイプラインの漏水及び揚水機場に設置された電気設備や圃場に設置された末端施設等の故障が多く発生しております。また、電気代や資材の価格も月ごとに変動高騰しております。そのため、農家からの賦課金のみでは運営するのが厳しい状況です。	町長
		① 漏水工事や電気代の費用を資金援助するなど、喜界町独自の支援策を検討・実施するお考えはないか、町長にお伺いします。	

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 喜界航路の減便について	(1) 「鹿児島～喜界～知名航路」対策協議会で6月から週4便体制を承認した。と新聞、テレビ等で報じられている。以下伺う	町長
		① 喜界島を起点に現在運航曜日（火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日）であるが6月以降の運航曜日を伺う。（5/30時点）	
		② 対策協議会の事務局と構成メンバーを伺う。	
		③ 5/1の議員への説明及び5/7の200名の町民への説明会での議員、町民の意見・要望を踏まえ、本町は対策協議会の場でどのような発言、主張をしたのか。	
		(2) 対策協議会は多数決で決する場ではない。その点、多くの町民と議員の意見を尊重するのであれば、拙速に減便の結論を求めるべきではない。見解を伺う。	
		(3) 意見書の内容と実現の見通しを伺う。	
	2 マイナ保険証について	(1) 国全体ではマイナ保険証の利用率は2024年12月25.42%、2025年3月は27.26%とほとんど増えていない。直近の本町と鹿児島県の利用率を伺う。	町長
		① 本町（病院、診療所、歯科医院） ② 鹿児島県全体	
		(2) マイナ保険証のトラブルや町民の苦情は寄せられていないか。	
	3 教員の残業実態と改善方向について	(3) マイナ保険証の解除件数と解除理由。	教育長
		(1) 令和5年度及び令和6年度の超過勤務時間の実態について伺う。	
		① 全体的傾向 ② 45時間内、過労死ライン80時間以上 ③ 教頭の残業時間	
		(2) 令和7年度の改善目標	
		(3) 教員給与特別措置法（給特法）への見解	

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
良岡理一郎 議員	4 鳥獣被害の実態と捕獲状況、今後の対策について	(1) 本町は鳥獣被害の根絶を目指している。捕獲状況と地域の特徴を伺う。 ① 令和4年、5年、6年以降年度ごとの捕獲数 ア、シカ イ、カラス ② シカ、カラスの地域の特徴 (2) 野生シカ生息頭数調査を伺う。 ① 調査時期 ② 調査方法 ③ 調査場所 ④ 調査結果発表と駆除対策 ⑤ 予算	町長
	5 糖蜜回収対策について	(1) 人手不足を理由に糖蜜回収が遅れ、全体として製糖作業が1カ月遅れた。原因と今後の対策を伺う。	
	6 自衛隊への名簿提供除外申請について	(1) 令和7年度の自衛隊への名簿提供対象者は18歳57名、22歳20名の計57名が予定されていた。一方、個人情報保護の観点から、名簿提供を望まない町民は名簿提供から除外申請が認められている。結局、何名の除外申請があり、自衛隊へは何名の名簿提供をしたのか、伺う。	
生島 常範 議員	1 フェリー減便後の対策について	6月から週4便体制の運航になり、その先の不安を感じる町民が多い。 (1) 意見書提出を条件に減便を承認した。今後、喜界町の対応策を伺う。	町長
		(2) 現有フェリー航路以外の航路編入を望む声も強い。将来を見据えた調査、検討も必要と思うが見解を伺う。	
	2 ふるさと納税について	出身者や喜界島ファンの皆さんの想いに感謝して各種事業に活用している。その体制を整え、更に愛される喜界町を目指したい。 (1) 町広報誌やホームページ以外に島外各種イベント等で担当者による紹介や説明等、充実した対応が必要と思う。現状の認識を伺う。 (2) 潤沢な財源が無い本町にとっては有難い制度。活用した事業の成果が評価されるようになるためにも担当部署の増員が必要と思うが見解を伺う。	町長
	3 島内の人材育成とグローバル教育の充実について	人口減少、少子高齢化という課題に限られた人材で対応するしかない宿命の島に住んでいる。 島内で人材を育てる仕組みを強固に推進する必要がある。	教育長

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議員	3 島内の人材育成とグローバル教育の充実について	(1) 指導者の資格取得に関する支援 ① 町民（小中生含む）へのスポーツ、文化、医療費削減も期待できる中高年の健康増進、フレイル予防の体操等の指導資格取得や遠征旅費等、ルールを設けて支援できないか伺う。 ② 経験、視野を広げるため、小中高生の島外遠征、鑑賞の為の旅費の支援の拡充も検討できないか伺う。	教育長
		(2) グローカルの視点から将来の喜界町の課題に向き合う人材育成が必要だ。 ① 今年は終戦80年の節目の年。歴史や祖先への慰霊や感謝の心を子ども達が学べる慰霊祭を実施できないか伺う。	
向井 博己 議員	1 フェリーあまみの減便について	フェリーあまみの減便は、いたしかたないと思うが、曜日の変更は可能ではないか。 奄美海運の主導のもと決められているが、園芸作物トマト農家、加工食品製造業者、漁業関係者等が木曜日の上り便がないと、鹿児島県の市場にだせない。第一海運が商品を持って行けない等と大変困っている。喜界町として、このような問題を考えているか又、5,6年先を見据えているか。	町長
	2 島外来動植物の規制について	喜界町では、今までに外来動植物の持ち込みによって多大なる被害を受けている。 ジャンボタニシによるサトウキビ被害、キジよる作物被害、喜界島古来のうずらの減少、グッピーの繁殖によりテナガエビ等の減少、鹿による被害によって、予算を使っている。植物では、ホテイアオイの繁殖による大雨の時に沈砂池のオーバーフローにより畑の被害、今後ともこうした問題が起こりうると思えるが、町として規制できる条例を考えられないか。	
	3 空き缶等ポイ捨て防止について	喜界町では、ジオパークなど、力をいれてきているが、外見は良くても、中身が伴っていない。 伐採が終わり、捨てる人が少なくなっているが、これを機に喜界町でも、知名町が定めている空き缶等ポイ捨て防止条例を定められないか。	
原田 尚樹 議員	1 喜界町の空き家・空き地の状況について	近年、日本各地で空き家問題が深刻化している。そこで、喜界町の空き家の現状・空き家・空き地活用について、4点伺う。	町長
		(1) 現状の喜界町内の空き家件数は、何件か、伺う。	
		(2) 空き家バンクの登録数は何件か、伺う。	

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
原田 尚樹 議員	1 喜界町の空き家・ 空き地の状況について	(3) (1) の中で空き家の土地・建物のオーナーの所在が把握できてない件数を伺う、また、どのような方法でオーナーを探すのか、伺う。	町長
		(4) 現在、倒壊寸前の家屋の件数は何件あるか。その倒壊寸前の家屋に対してどのような対応をしているかを伺う。	
	2 ふるさと納税について	2016年から企業版ふるさと納税がスタートした。各市町村・自治体を応援する人数や応援額も増えている現状について、3点伺う。	町長
		(1) 令和6年度の個人のふるさと納税額・納税者の人数及び、企業版ふるさと納税額・納税企業数を伺う。	
		(2) これまでふるさと納税を活用し、効果のあった事業を伺う。	
		(3) 今後のふるさと納税・企業版ふるさと納税の重点的な活用方法を町民からアイデアを募集し、事業計画を策定することは可能か。	
	3 郷土会との連携について	全国に喜界島出身者が集まる郷土会がある。島に寄与することを目的に活動している郷土会との連携について、3点伺う。 (1) 郷土会員は自己が所有する島の土地、空き家の今後について不安視している。その為、郷土会と連携して空き家活用について協議、支援はできないか伺う。	町長
		(2) 2番目に質問をしたふるさと納税に関連して、本町の抱える課題を解決するため郷土会にもふるさと納税の使い道を提案していただくことは可能か伺う。	
		(3) 群島内では郷土会と連携して島外でのイベントを開催し地域活性化に向けて取り組んでいる自治体がある。本町は今後、郷土会とのコラボイベントを実施する考えはあるか。	
	4 町営施設の老朽化について	公共施設等の老朽化に伴い、今後の修繕・更新について、3点伺う。 (1) 海水浴場の脱衣所・トイレ等の現状と更新など、状況を伺う。特に志戸桶海水浴場の今後の計画など。	町長
		(2) 公園のトイレ（遊歩道・むちゃかな公園・メンハナ公園・百之台公園etc）の整備状況・管理状況・衛生状況を伺う。	
		(3) 自然休養村管理センターや体育館は夜の利用頻度も高いが、駐車場内は暗く歩行が困難である。今後、駐車場のライトの設置、ライン整備などが必要であると考えているが認識を伺う。	

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
原田 尚樹 議員	5 少年・少女スポーツ団体の補助について	喜界町唯一の総合型地域スポーツクラブ きかい100スポーツクラブと町との関わりなど2点伺う。 (1) これまで大会遠征や運営に対して、どのような支援を行っているか。	教育長
		(2) 2024年5月に、きかい100スポーツクラブは生涯学習課に事業の推進への要望書を提出しているが、要望書の中身を受け、どのように精査し、対応をしたか伺う。	
	6, 鹿児島～喜界～知名航路減便について	喜界島を経由する唯一の航路 鹿児島～喜界～知名航路の住民説明会を受け、約1カ月で減便が確定する実態が起こっている、そこで2点伺う。 (1) 塩田知事は、「県として喜界～知名航路の利用状況・実態把握に努める」と発言しているが、本町は今後県とどのような連携をしていく考えか。	町長
		(2) 本町は減便を承認したわけだが、今後、町民の生活にどのような影響があるかを随時調査して、フォロー体制を整備するなど支援していく考えはあるか。	
土岐 和貴 議員	1 脱炭素化推進事業について	(1) 令和7年当初予算にて脱炭素化推進費の中で、バスの自動運転に向けた実施設計委託料など1億2560万円国県補助事業で計上。予算審査特別委員会では自動運転の実証事業に対して討論があった。その結果、付帯意見として3つ報告。町民からも自動運転に向けた取り組みに対して不安の声をいただいている。	町長
		① バスの自動運転（実証事業）は地域交通関連企業や町民等から要望が多くあったのか。	
		② なぜ、本町で自動運転バスを導入しようとしているのか。	
		③ 自動運転が導入されるようになれば、雇用の喪失にもつながってしまうのではないのか。	
		④ 自動運転バスには、いくつか危険性や懸念も存在する。交通状況への適応の難しさ、システム誤作動、サイバーセキュリティ、交通ルールの厳守、社会的な受け入れなどが挙げられる。この点についてはどのように考えているか。	
		⑤ 交通ルールの厳守について、本町は押しボタン式信号が一基のみ。周囲の運転手や歩行者が予測不可能な動きをすると、それに対応しきれないことがあるのではないのか。	
		⑥ 社会的な受け入れに対して、バスの利用者や周囲の歩行者が自動運転に不安を感じている場合、その心理的な抵抗が交通の円滑な運営を妨げる可能性もあるのではないのか。	
		⑦ 実証事業が進んでいく場合、どのような形で町民の方々に周知していくのか。	

令和7年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
土岐 和貴 議員	1 脱炭素化推進事業について	(2) 脱炭素化事業の推進に伴う自然環境への影響について、現在、本町では脱炭素化に向けた取り組みが推進されているが、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギー導入には、大規模な土地利用や環境への影響が懸念されている。その他にも初期投資は高額であり、設置後の運営やメンテナンスにもコストがかかる。 ① 喜界島の豊かな自然や生態系に悪影響を及ぼす可能性がある脱炭素化事業の必要性や今後の取り組みなど伺う。	町長
	2 堆肥センター基本構想について	(1) これまで堆肥センター基本構想について、さまざまな議論がされてきた。今後の計画等含めて伺う。 ① 現在、本町ではどれくらい堆肥が足りていないのか。 ② 足りない場合、島外から取り寄せる仕組みの再構築（補助事業）が必要ではないか。 ③ 既存である3つの企業の堆肥を最大限に活用すべきではないか。 ④ 基本的に畜産農家の牛糞は各自、指定の場所で堆肥化して、対応しなければならないのではないか。 ⑤ 汚泥処理の問題があるが、コストを抑えていくためには、汚泥処理専用の施設を計画してはどうか。 ⑥ 本町の現状を踏まえて、今後は堆肥センター基本構想についてどのように進めていくのか。	町長
	3 フェリー減便について	(1) 令和7年5月7日にフェリー減便に伴う住民説明会が開催された。その後、鹿児島～喜界～知名航路対策協議会にて6月からフェリーの減便が決定した。町民からは「生活への影響が大きい」など戸惑いの声をいただいている。 ① 減便後、農作物の輸送に与える影響は大きい。本町としてはどのように対応していくのか。 ② 漁業、ビジネス関係、医療機関に通院している町民等にとっても、影響は大きい。町全体にアンケート調査を実施し、Webアンケート等も活用しながら、意見や要望を聞いていくことが大切ではないか。 ③ アンケート内容等を基に本町としては引き続き、5便に戻してもらえるように、会社側と連携を取りながら、積極的に動いていただけないか。 ④ 今後は、裏航路だけではなく、違う選択肢も並行して考えていくべきではないか。	町長